授業科目名・形態	介護の基本Ⅱ　　講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	石田　浩幸	実務経験の有無	有	開講期	1年後期
科目ナンバリング	W3-1009c				

【授業の主題】

地域包括ケアシステムの構築や介護予防が必要とされる我が国の今日的課題を明らかにし、多様化・複雑化する介護ニーズに対応するために求められる介護福祉士の役割と機能について理解する。また、介護福祉の基本理念を基盤として、普遍的生命倫理原則の視点や養成教育の変遷等を通して、介護福祉の専門職としての倫理・態度を養う学習とする。

【到達目標】

1) 介護福祉を取り巻く我が国の今日的課題や多様化・複雑化する介護ニーズを捉え、介護福祉士に求められる役割と専門性を理解する。
2) 倫理的な介護実践について事例をもとに検証し、介護福祉の専門職としての態度と倫理性を養う。

【授業計画・内容】

第 1 回　社会福祉士及び介護福祉士法：法の概要、義務規定
第 2 回　社会福祉士及び介護福祉士法に関連する諸規定
第 3 回　介護福祉士の活動の場と役割①：地域包括ケアシステム
第 4 回　介護福祉士の活動の場と役割②：介護予防・医療的ケア
第 5 回　介護福祉士の活動の場と役割③：人生の最終段階の支援・災害時の支援
第 6 回　介護福祉士に求められる役割とその養成①
第 7 回　介護福祉士に求められる役割とその養成②
第 8 回　介護福祉士を支える団体
第 9 回　介護福祉士の倫理①：介護実践における倫理, 普遍的生命倫理原則
第 10 回　介護福祉士の倫理②：事例検討
第 11 回　介護福祉士の倫理③：事例検討
第 12 回　介護福祉士の倫理④：事例検討
第 13 回　小テスト（倫理）
第 14 回　日本介護福祉士会の倫理綱領①：身体拘束、虐待防止
第 15 回　日本介護福祉士会の倫理綱領②：倫理綱領と行動規範

【授業実施方法】

講義、及びグループワーク形式で行う。

【事前・事後準備】

講義内容を踏まえ復習を行い、厚労省や関係団体のホームページ、参考文献等を用いて確認すること。

【主な関連する科目】

社会福祉概論、高齢者福祉論、障害者福祉論、認知症ケア論、日常生活支援技術演習

【教科書等】

最新・介護福祉士養成講座 3　介護の基本Ⅰ　中央法規出版（株）

【参考文献】

筒井孝子：地域包括ケアシステム構築のためのマネジメント戦略,中央法規出版（株）

【成績評価方法】

筆記試験 60%、小テスト 30%、授業態度等 10%により総合的に評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

養護老人ホームや特養等において高齢者とその家族への支援に関わってきた経験を活かし、地域や介護現場の多様な実践事例を織り交ぜながら、学生が具体的イメージを持って、介護福祉士の役割や倫理的介護実践について理解を深められるようにしたい。

【学生へのメッセージ】

介護福祉士には高い倫理性が求められます。様々な事例から介護福祉士の倫理的介護実践とはなにかを考えていきましょう。